

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277101974		
法人名	医療法人 社団 静隆会		
事業所名	グループホーム曳馬の家(1号館)		
所在地	浜松市中区曳馬3丁目12-5		
自己評価作成日	平成29年8月4日	評価結果市町村受理日	平成29年9月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/zz/index.php?action_kounyuu_detail_2016_022_kani=true&lievosvoCd=2277101974-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年8月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居されています方々の気持ちを少しでも汲み取りながら、その人らしく生活できる場を提供し、支援しています。
ご家族様の意見をうかがいながら、常に連携をとり、入居されている方々、一人ひとり違ったサービスが提供できるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

赤電の曳馬駅とは数分の距離の街中に在り、アクトタワーや走る電車を大きな窓から日々眺めることができます。利用者に「住み慣れた土地なんだ」と感じてもらえるよう、煩わしいとも思える環境でも敢えて取り込むことを理念実践の中心に置いています。例えば、オートレース場近くに住いがあった人は交通爆音がする時間に表で外気浴をしたり、といったことを試みています。また、夏祭りでは心身状態や本人の意向から行かない人がでましたが、出かける利用者から「留守番の人に何か買っていこう」と声が挙がり、小遣いの中からお土産を購入して帰ったとの例からも、事業所内に自然な支え合い精神が育っていることが覗えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた場所、見覚えのある場所でその人らしく生活できるように支援しています。	利用者に「住み慣れた土地なんだ」と感じてもらえるよう、周りの環境を敢えて生活に取り込むことを理念実践の中心に置いています。例えば、オートレース場近くに住いがあつた人は交通爆音の聞こえやすい時間に表で外気浴をしたり、といったことを試みています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事には参加させていただいています。行事に参加できない人にも行けた人が話をしてくれたり、みんなで楽しめるようにします。また、毎年近隣中学の福祉体験学習の受け入れをしています。	「隣家で草取りをしているのを見かけて、並んで世間話をしながら一緒に草取りする」ようなごく普通の関係づくりに努め、地域行事にも誘ってもらえています。身体的に行ける人ばかりではありませんが、「何度も誘ってもらえる」ことが事業所としては大変嬉しいとしています。	様々なサークルの発表の場として活用して欲しいと考えている、とのことですので是非早期の実現を期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、現在の状況や日頃の様子などの話をして、理解を深めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、サービスの取り組み等話をさせていただいています。出席されたご家族様に意見や要望など伺いながら取り入れています。	行政や地域メンバーの都合で1ヶ月ずれ込んだこともありましたが、年6回開催となるよう進めています。参加者には必ず一声お願いし、あがつた議案は経過報告も細目におこない、困っていることには助言をもらえる場として事業所では頼りとしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席していただいています市役所職員様、地域包括支援センター職員様など不安に思っていること等話しています。	市役所とのやりとりは郵送でまかなえることが大半なことから、わざわざ出向くことはしてはませんが、それでも月1回は窓口で直接話をしていきます。小さなことでも電話で問い合わせすると、的確な助言が得られ助けられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員が研修を受けています。工夫しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	事業所前の交通量の多さからくる施錠は家族の了解を得ています。また本件に係る個々の職員のクオリティについては、状況によっては声が大きくなってしまふような時に傍にいる職員らから沈静を促すフォローがあり、チームとして概ね「可」と管理者は捉えています。	施錠が普通とならないよう、期間を定めて繰り返し議題に乗せたり、時間帯によっては開錠していくとなお良いと思います。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止を常に念頭に置いて介護に当たっている。高齢者虐待につながるようなことはないか細心の注意をはらっています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学習し、理解を深めているが、現在必要とする対象者はいません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行っています。不安や、心配事など、その場で確認してから入居の契約を結んでいます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族来設時には、近況の報告と、ご家族の気持ちなど意見を頂いています。職員会議や運営推進会議の席でも取り上げています。	支払いは持ち込みのため最低でも月1回の来訪があり、職員も家族に伝えたいことは利用者用ポストにメッセージを入れてと、コミュニケーション機会の設定に長けています。またカンファレンスを全員でおこない、どの職員も利用者の様子、状態を家族に話し伝えることができています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のカンファレンスを充実させるように心がけています。その中で解決が難しい案件などは月に1回の職員会議の席で話しあい意見を出し合っています。	「誰かが決めるのではなく、みんなで解決する。そのためには具体的な内容を細かく検討し、だからこうしようと話し合い、実践する」ことを管理者が旨とし、小さなことでも話し合うことが浸透し、毎日30分のカンファレンスと月1回の全体会議が慣行されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見には耳を傾けて働きやすい環境作りを心がけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に参加して頂いています。その時々で困っていることなどテキストにまとめ働きながら知識を持てるように対策しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とのつながりを大切にしています。他施設の意見を聞くことで自分の施設がより向上するよう取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に今までの生活をがらっと変えることのないように安心して生活できるようにより良い関係性を保てるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の段階から不安なことや要望を聞き安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族より情報をよく聞き、アセスメントを行い、ケアプランの作成をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思いは常に大切にしています。今までやってきたことは、継続して行えるよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	どうしたらご本人にとって一番良いのか、ご家族を交えて話し合いをしながら支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御親族様、ご友人様の来設はいつでも来ていただけるように声掛けをしています。	友人も来所前に電話を1本入れてくれ、家族も月1回は来訪し、事業所では歓迎しています。ミシンを持ち込み大切にしている人には、名札の縫い付けや雑巾縫いをお願いしたりして、最近では職員と一緒に手作りのカレンダーを作っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの入居者同士の会話はあまり口出しせず楽しんで頂けるように見守っています。一人を好む方には、居室へ出向き声掛けをするようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前退居された方で今でも自宅で摂れた野菜を届けてくださるご家族もいます。その時にはご家族の今を聞き、寄り添えるように支援しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の声掛けのや、何気ない会話やしぐさの中から思いを汲み取り、希望や意向を伝えられなくても把握できるように努めています。	言わない、言えない人もいるため、しぐさや様子を気にかけています。夜中眠れない利用者が独りで居る職員の傍らにきて「寂しそうだから一緒にいよう」と夜遅くまで話をしていたとのエピソードからも、職員に素直に気持ちを表出しやすい関係が出来ていることが覗えます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族から情報を頂き、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂けるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人の生活リズムを理解し、それに沿った支援が出来るように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の思い、ご家族の思いを念頭に置きさらに必要なことがあれば関係者にも話を伺って職員の記録を反映させながら介護計画を作成しています。	職員の記録、家族の意向、医者診断、本人の想いを盛り込み、3ヶ月で実現したことは削り、問題点は改めて追加する仕組みがあり、「どんなに小さなことでもメモ書きし、プラン作成に役立てる」ようにして、カンファレンスを毎日行い新たな気づきを見つけることができています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録の記入をこまめに行い、意見交換をしながら介護計画書の作成に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況やご家族の要望に応じて見合ったサービス等紹介できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方に協力して頂くように努めています。地元の催しなどにも出かけて楽しみを味わえるようにしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の状況やご家族の希望を主治医に伝え適切な治療を受けられるように支援しています。協力医においては職員が同行し状況に説明を必ず行っています。	以前の医師を続けている人は6名います。協力医は事業所の近くの開業医で予防接種は来所くださり、重度化となれば「訪問に替えましょうか」と提案があり、親身な対応を得ています。看護師の週2回の訪問では相談も随時出来、調剤薬局の薬剤師も直接薬を届けてくださいます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に2回来設し、健康管理を行っています。何かある時には事前にお伝えし、指示を頂き、協力医やかかりつけ医への情報提供をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、スムーズに対応できるように情報提供をしています。退院に向けてはご家族や相談員、病棟看護師から話をきいたり、病院へ面会に行き、状態の把握に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や、終末期についてはご家族の意向を大切にしています。ご家族が納得できた場合ターミナルケアを行うこともあります。	10年余を此処で暮らす利用者が増え、座位が保てなければ必ず医師に相談して重度化の判断を仰いでいます。家族は「ここで看取って欲しい」との希望が多く、その思いには快く応じて2年程の間に6名のお見送りをこなしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを把握しそれに沿った対応をしています。急変時は、他館職員も応援に入るように体制を整えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定、水害想定等を含み年2回の訓練を行っています。運営推進会議において地域の協力をお願いしています。	日中はできる限り消防署の指導を仰ぐよう手配し、夜間は誘導連絡を主にして各ユニット交代で出火場所を設定して、年2回実施しています。消防署の査察では積極的に相談することで避難方法や優先順位の助言を得て、運営推進会議でも報告しています。	次の2点が叶うとなお良いと思います。 ①「有事には受け入れも視野に～」とのこと踏まえ、現状の備蓄2日を少しずつ増やしていく ②風水害対策は運営推進会議の議題に乗せ、地域ぐるみで進めていく

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応に乱れがないように注意をはらっています。一人ひとり違うので、その人に合った言葉かけになるように対応しています。	「スピーチロックはない」と管理者は確信していて、利用者の言葉には気持ちを遮らないで聴くことを徹底させています。「言葉に愛情があるかどうか大切」として、職員は事業所ではできないことであれば、詳細まで説明して、方向転換や代替案で「納得まで」引き上げています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が何をしたいのか、傾聴し自己決定が出来るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望を大切にしています。日々の変化にも柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望者には出張美容師にカットを依頼し、身だしなみを整えています。常の洋服も、自分で選んだり、好みに合ったものを着て頂いたり一緒にコーディネートを考えたりしながら支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろん、盛り付けにも気を配るようにしています。できる方は自主的に片付けの手伝いやテーブル拭きをさせていただきます。	平日は業者から食事が届いていますが、日曜には各ユニットの職員が交代で手作りしています。業者でも職員でも兎に角「熱いものは熱いうちに冷たいものは冷たいうちに」が基本で、熱いものは嚥下効果も期待しています。おやつにポテトやたい焼きを作る日もあります。	手作り感が毎日の食卓に足りない状況は否めないため、手作りおやつの日を積極的につくっていくことを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録をつけ一人ひとりに見合った量や加工で提供しています。好みの飲みものを把握して、時間に関係なく飲んで頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	状態によっては、毎食後、夕食後には全員口腔ケアを行っています。自らできない方に対しては、声掛け、介助にて行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して、時間を決めてトイレ介助するだけでなく行動やしぐさからも察知してトイレに行けるように支援しています。	これまでは定時誘導でしたが、現在しぐさや本人の言動を見て取っての声掛けに切り替え、経過観察中です。どのような向上をみせるのか、はたまた人によっては何か不具合が生じるのか職員も暗中模索で、中間報告としてはパッドの消費量が減ったとの成果がでています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	昼食前に適度な運動をしています。自然排便が困難な方にはチェック表を作成し主治医、看護師のもと適切な内服薬の処方をお願いしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調に注意しながら希望に沿った入浴ができるように支援しています。入浴できない時は、衣類の交換や清拭等を行っています。	ちょっとした民宿並みに大きな浴槽に1名ずつ入っていて、湯は足し湯です。足拭きマットは共用で、一人毎にドライヤーで乾かしています。拒否には難儀をしており1名は解決策が見つかり、あと1名がやっと洗髪に慣れてくださった状況で、未だ苦戦が続きそうです。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるように、寝具、空調、照明など個々の好みに合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬について管理表に記録し、ないようにの確認をしています。与薬時は日付、名前の確認、飲み込みの確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみ事が継続していけるようにご家族にも協力して頂いています。気分転換に外気浴や買い物にでかけたりもします。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば一緒に買い物にでかけます。ご家族と外食したり、ドライブを楽しまれる方もいます。	事業所では特段外出企画は取組んでおらず、家族と一緒にでかけてもらっています。散歩は暑い、寒くない季節にはほぼ毎日出ていますが、「俺は行かなくていいか」と申告してくれる利用者もおり、「やらねばならないこと」とはしていません。	年に1、2度は皆で季節を愉しむ外出企画があり、家族も誘えたらとなお良いと思います。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の了承を得ている方は、金銭を所持されています。買い物時、自分で支払う等しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族に電話を掛けたり、かかってきた電話に出たりすることができます。手紙が来た時は返事が出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の壁紙を一緒に作り展示しています。南側には季節に応じて色々な花が咲き季節感を味わえます。	2階はカラオケがBGMのように流れ口ずさむ利用者もいて、また大きな窓からは明るい陽の光が差し込み、アクトタワーや赤電(遠鉄電車)を眺めることもできます。手先の器用な利用者お手製のカレンダー、貼り絵・切り絵の壁画作品は季節感を醸し出しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでお話されたり、時にはテレビの前のソファに座り鑑賞したり、思い思いに過ごす事が出来るように声掛けや介助をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になじみの物を持ってきていただいています。写真や花を飾り居心地良く過ごせるように支援しています。	大抵の居室はあまりモノがなく、やや寂しい印象があるものの、時折名札付けや雑巾を縫ってくださる人の居室はミシンを中心にその人の部屋として形づくられ、また素敵な生花が置かれる居室にはほぼ毎日家族が持参する姿があります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、居室廊下、トイレ、ふる場等手すりが取り付けられています。一人ひとりなるべく自力でかつ、安全に生活できる環境になっています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277101974	
法人名	医療法人 社団 静隆会	
事業所名	グループホーム曳馬の家(2号館)	
所在地	浜松市中区曳馬3丁目12-5	
自己評価作成日	平成29年8月4日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/zz/index.php?action_kounyo_u_detail_2016_022_kani=true&lievosvoCd=2277101974-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構	
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A	
訪問調査日	平成29年8月21日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居されています方々の気持ちを少しでも汲み取りながら、その人らしく生活できる場を提供し、支援しています。
ご家族様の意見や思いをうかがいながら、常に連携をとり、入居されている方々、一人ひとり違ったサービスが提供できるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

赤電の曳馬駅とは数分の距離の街中に在り、アクトタワーや走る電車を大きな窓から日々眺めることができます。利用者に「住み慣れた土地なんだ」と感じてもらえるよう、煩わしいとも思える環境でも敢えて取り込むことを理念実践の中心に置いています。例えば、オートレース場近くに住いがあった人は交通爆音がする時間に表で外気浴をしたり、といったことを試みています。また、夏祭りでは心身状態や本人の意向から行かない人がでましたが、出かける利用者から「留守番の人に何か買っていこう」と声が挙がり、小遣いの中からお土産を購入して帰ったとの例からも、事業所内に自然な支え合い精神が育っていることが覗えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた場所、見覚えのある場所でその人らしく生活できるように支援しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事には参加させていただいています。行事に参加できない人にも行けた人が話をしてくれたり、みんなで楽しめるようにしています。また、毎年近隣中学の福祉体験学習の受け入れをしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、現在の状況や日頃の様子などの話をして、理解を深めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、サービスの取り組み等話をさせていただいています。出席されたご家族様に意見や要望など伺いながら取り入れています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席していただいています市役所職員様、地域包括支援センター職員様など不安に思っていること等話しています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員が研修を受けています。工夫しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止を常に念頭に置いて介護に当たっている。高齢者虐待につながるようなことはないか細心の注意をはらっています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学習し、理解を深めているが、現在必要とする対象者はいません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行っています。不安や、心配事など、その場で確認してから入居の契約を結んでいます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族来設時には、近況の報告と、ご家族の気持ちなど意見を頂いています。職員会議や運営推進会議の席でも取り上げています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のカンファレンスを充実させるように心がけています。その中で解決が難しい案件などは月に1回の職員会議の席で話しあい意見を出し合っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見には耳を傾けて働きやすい環境作りを心がけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に参加して頂いています。その時々で困っていることなどテキストにまとめ働きながら知識を持てるように対策しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とのつながりを大切にしています。他施設の意見を聞くことで自分の施設がより向上するよう取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に今までの生活をがらっと変えることのないように安心して生活できるようにより良い関係性を保てるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の段階から不安なことや要望を聞き安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族より情報をよく聞き、アセスメントを行い、ケアプランの作成をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思いは常に大切にしています。今までやってきたことは、継続して行えるよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	どうしたらご本人にとって一番良いのか、ご家族を交えて話し合いをしながら支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御親族様、ご友人様の来設はいつでも来ていただけるように声掛けをしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの入居者同士の会話はあまり口出しせず楽しんで頂けるように見守っています。一人を好む方には、居室へ出向き声掛けをするようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前退居された方で今でも自宅で摂れた野菜を届けてくださるご家族もいます。その時にはご家族の今を聞き、寄り添えるように支援しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の声掛けのや、何気ない会話やしぐさの中から思いを汲み取り、希望や意向を伝えられなくても把握できるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族から情報を頂き、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂けるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人の生活リズムを理解し、それに沿った支援が出来るように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の思い、ご家族の思いを念頭に置きさらに必要なことがあれば関係者にも話を伺って職員の記録を反映させながら介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録の記入をこまめに行い、意見交換をしながら介護計画書の作成に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況やご家族の要望に応じて見合ったサービス等紹介できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方に協力して頂くように努めています。地元の催しなどにも出かけて楽しみを味わえるようにしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の状況やご家族の希望を主治医に伝え適切な治療を受けられるように支援しています。協力医においては職員が同行し状況に説明を必ず行っています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に2回来設し、健康管理を行っています。何かある時には事前にお伝えし、指示を頂き、協力医やかかりつけ医への情報提供をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、スムーズに対応できるように情報提供をしています。退院に向けてはご家族や相談員、病棟看護師から話をきいたり、病院へ面会に行き、状態の把握に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や、終末期についてはご家族の意向を大切にしています。ご家族が納得できた場合ターミナルケアを行うこともあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを把握しそれに沿った対応をしています。急変時は、他館職員も応援に入るように体制を整えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定、水害想定等を含み年2回の訓練を行っています。運営推進会議において地域の協力をお願いしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応に乱れがないように注意をはらっています。一人ひとり違うので、その人に合った言葉かけになるように対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が何をしたいのか、傾聴し自己決定が出来るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望を大切にしています。日々の変化にも柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望者には出張美容師にカットを依頼し、身だしなみを整えています。常の洋服も、自分で選んだり、好みに合ったものを着て頂いたり一緒にコーディネートを考えたりしながら支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろん、盛り付けにも気を配るようにしています。できる方は自主的に片付けの手伝いやテーブル拭きをさせていただきます。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録をつけ一人ひとりに見合った量や加工で提供しています。好みの飲みものを把握して、時間に関係なく飲んで頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	状態によっては、毎食後、夕食後には全員口腔ケアを行っています。自らできない方に対しては、声掛け、介助にて行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して、時間を決めてトイレ介助するだけでなく行動やしぐさからも察知してトイレに行けるように支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	昼食前に適度な運動をしています。自然排便が困難な方にはチェック表を作成し主治医、看護師のもと適切な内服薬の処方をお願いしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調に注意しながら希望に沿った入浴ができるように支援しています。入浴できない時は、衣類の交換や清拭等を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるように、寝具、空調、照明など個々の好みに合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬について管理表に記録し、ないようにの確認をしています。与薬時は日付、名前の確認、飲み込みの確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみ事が継続していけるようにご家族にも協力して頂いています。気分転換に外気浴や買い物にでかけたりもします。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば一緒に買い物にでかけます。ご家族と外食したり、ドライブを楽しまれる方もいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の了承を得ている方は、金銭を所持されています。買い物時、自分で支払う等しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族に電話を掛けたり、かかってきた電話に出たりすることができます。手紙が来た時は返事が出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の壁紙を一緒に作り展示しています。南側には季節に応じて色々な花が咲き季節感を味わえます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでお話されたり、時にはテレビの前のソファに座り鑑賞したり、思い思いに過ごす事が出来るように声掛けや介助をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になじみの物を持ってきていただいています。写真や花を飾り居心地良く過ごせるように支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、居室廊下、トイレ、ふろ場等手すりが取り付けてあります。一人ひとりなるべく自力でかつ、安全に生活できる環境になっています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277101974	
法人名	医療法人 社団 静隆会	
事業所名	グループホーム曳馬の家(3号館)	
所在地	浜松市中区曳馬3丁目12-5	
自己評価作成日	平成29年8月4日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/zz/index.php?action_kounyo_u_detail_2016_022_kani=true&lievosvoCd=2277101974-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構	
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A	
訪問調査日	平成29年8月21日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居されています方々の気持ちを少しでも汲み取りながら、その人らしく生活できる場を提供し、支援しています。
ご家族様の意見や思いをうかがいながら、常に連携をとり、入居されている方々、一人ひとり違ったサービスが提供できるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

赤電の曳馬駅とは数分の距離の街中に在り、アクトタワーや走る電車を大きな窓から日々眺めることができます。利用者に「住み慣れた土地なんだ」と感じてもらえるよう、煩わしいとも思える環境でも敢えて取り込むことを理念実践の中心に置いています。例えば、オートレース場近くに住いがあった人は交通爆音がする時間に表で外気浴をしたり、といったことを試みています。また、夏祭りでは心身状態や本人の意向から行かない人がでましたが、出かける利用者から「留守番の人に何か買っていこう」と声が挙がり、小遣いの中からお土産を購入して帰ったとの例からも、事業所内に自然な支え合い精神が育っていることが覗えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた場所、見覚えのある場所でその人らしく生活できるように支援しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事には参加させていただいています。行事に参加できない人にも行けた人が話をしてくれたり、みんなで楽しめるようにしています。また、毎年近隣中学の福祉体験学習の受け入れをしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、現在の状況や日頃の様子などの話をして、理解を深めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、サービスの取り組み等話をさせていただいています。出席されたご家族様に意見や要望など伺いながら取り入れています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席していただいています市役所職員様、地域包括支援センター職員様など不安に思っていること等話しています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員が研修を受けています。工夫しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止を常に念頭に置いて介護に当たっている。高齢者虐待につながるようなことはないか細心の注意をはらっています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学習し、理解を深めているが、現在必要とする対象者はいません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行っています。不安や、心配事など、その場で確認してから入居の契約を結んでいます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族来設時には、近況の報告と、ご家族の気持ちなど意見を頂いています。職員会議や運営推進会議の席でも取り上げています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のカンファレンスを充実させるように心がけています。その中で解決が難しい案件などは月に1回の職員会議の席で話しあい意見を出し合っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見には耳を傾けて働きやすい環境作りを心がけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に参加して頂いています。その時々で困っていることなどテキストにまとめ働きながら知識を持てるように対策しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とのつながりを大切にしています。他施設の意見を聞くことで自分の施設がより向上するよう取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に今までの生活をがらっと変えることのないように安心して生活できるようにより良い関係性を保てるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の段階から不安なことや要望を聞き安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族より情報をよく聞き、アセスメントを行い、ケアプランの作成をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思いは常に大切にしています。今までやってきたことは、継続して行えるよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	どうしたらご本人にとって一番良いのか、ご家族を交えて話し合いをしながら支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御親族様、ご友人様の来設はいつでも来ていただけるように声掛けをしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの入居者同士の会話はあまり口出しせず楽しんで頂けるように見守っています。一人を好む方には、居室へ出向き声掛けをするようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前退居された方で今でも自宅で摂れた野菜を届けてくださるご家族もいます。その時にはご家族の今を聞き、寄り添えるように支援しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の声掛けのや、何気ない会話やしぐさの中から思いを汲み取り、希望や意向を伝えられなくても把握できるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族から情報を頂き、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂けるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人の生活リズムを理解し、それに沿った支援が出来るように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の思い、ご家族の思いを念頭に置きさらに必要なことがあれば関係者にも話を伺って職員の記録を反映させながら介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録の記入をこまめに行い、意見交換をしながら介護計画書の作成に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況やご家族の要望に応じて見合ったサービス等紹介できるように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方に協力して頂くように努めています。地元の催しなどにも出かけて楽しみを味わえるようにしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の状況やご家族の希望を主治医に伝え適切な治療を受けられるように支援しています。協力医においては職員が同行し状況に説明を必ず行っています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に2回来設し、健康管理を行っています。何かある時には事前にお伝えし、指示を頂き、協力医やかかりつけ医への情報提供をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、スムーズに対応できるように情報提供をしています。退院に向けてはご家族や相談員、病棟看護師から話をきいたり、病院へ面会に行き、状態の把握に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や、終末期についてはご家族の意向を大切にしています。ご家族が納得できた場合ターミナルケアを行うこともあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを把握しそれに沿った対応をしています。急変時は、他館職員も応援に入るように体制を整えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定、水害想定等を含み年2回の訓練を行っています。運営推進会議において地域の協力をお願いしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応に乱れがないように注意をはらっています。一人ひとり違うので、その人に合った言葉かけになるように対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が何をしたいのか、傾聴し自己決定が出来るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望を大切にしています。日々の変化にも柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望者には出張美容師にカットを依頼し、身だしなみを整えています。常の洋服も、自分で選んだり、好みに合ったものを着て頂いたり一緒にコーディネートを考えたりしながら支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろん、盛り付けにも気を配るようにしています。できる方は自主的に片付けの手伝いやテーブル拭きをさせていただきます。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録をつけ一人ひとりに見合った量や加工で提供しています。好みの飲みものを把握して、時間に関係なく飲んで頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	状態によっては、毎食後、夕食後には全員口腔ケアを行っています。自らできない方に対しては、声掛け、介助にて行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して、時間を決めてトイレ介助するだけでなく行動やしぐさからも察知してトイレに行けるように支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	昼食前に適度な運動をしています。自然排便が困難な方にはチェック表を作成し主治医、看護師のもと適切な内服薬の処方をお願いしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調に注意しながら希望に沿った入浴ができるように支援しています。入浴できない時は、衣類の交換や清拭等を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるように、寝具、空調、照明など個々の好みに合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬について管理表に記録し、ないようにの確認をしています。与薬時は日付、名前の確認、飲み込みの確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみ事が継続していけるようにご家族にも協力して頂いています。気分転換に外気浴や買い物にでかけたりもします。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば一緒に買い物にでかけます。ご家族と外食したり、ドライブを楽しまれる方もいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の了承を得ている方は、金銭を所持されています。買い物時、自分で支払う等しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族に電話を掛けたり、かかってきた電話に出たりすることができます。手紙が来た時は返事が出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の壁紙を一緒に作り展示しています。南側には季節に応じて色々な花が咲き季節感を味わえます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでお話されたり、時にはテレビの前のソファに座り鑑賞したり、思い思いに過ごす事が出来るように声掛けや介助をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になじみの物を持ってきていただいています。写真や花を飾り居心地良く過ごせるように支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、居室廊下、トイレ、ふろ場等手すりが取り付けてあります。一人ひとりなるべく自力でかつ、安全に生活できる環境になっています。		